

テーマ：エゴからエコへ～ほんとうの豊かさとは？～

ファシリテーター（グループ）：環境問題チーム

1：本テーマの趣旨

私たちは誰でも豊かな生活を求めるが、私たちの生活が豊かになるほど、地球環境は壊されている。この問題は世界規模で取り組むことが必要とされているが、先進国のエゴと発展途上国のエゴがぶつかり合っていて、解決には向かっていない。エゴを乗り越え、エコな世界をつくっていくためには、私たちは何をすれば良いのかを一緒に考えていきたい。

2：本テーマの目的

先進国の主張と発展途上国の主張の違いを理解してもらい、私たちが暮らしている地球を守るために、自分のできる行動を考えることができるようになる。

3：本テーマをとりあげる理由

地球温暖化の問題が深刻な状況にあることを子どもたちに知ってもらいたい。

また、地球温暖化を防止するために、自分たちにもできることがあるということに気づいてもらい、エコの意識を持ってもらいたい。

4 : 活動過程 (使用時間 : 90分 参加人数 : 約30~40名)

過程 (所要時間)	活動内容とそのねらい	ファシリテーターの支援活動(教材, 発問, 説明, 指示)	使用する教材	生徒の予想される反応. その他, 注意事項
アイスブレイキング (15分)	「数集まり、山手線ゲーム」 参加者全員で楽しく活動して、緊張をほぐす。 後の活動のグループ分けも兼ねている。	笛が吹かれた人数で集まってもらい、その後グループ内で自己紹介を行う。	笛	あふれてしまう生徒が出ないように配慮する。
導入 (10分)	「温暖化クイズ」 ・温暖化の原因(森林伐採など) ・温暖化の結果(海拔の上昇など) 地球温暖化という問題に意識を向けてもらう。	例)「地球温暖化は森林伐採によって、引き起こされている。これは正しいでしょうか?間違っているでしょうか?」 ○×問題に答えてもらう。	ひも 写真 図表	「これはきっと正しいよ。」 「いや、間違いだよ。」
展開1 (30分)	「開発ゲーム」 豊かさを手に入れるために、環境が壊されていることを体験してもらう。	アイスブレイキングのグループに分かれてもらう。 チーム対抗で、より多くのものを作ってもらう。	画用紙 マジックペン ハサミ 見本の型 お金 ゴミ袋	「たくさん稼ぐことができるよ。」 「こんなに環境が破壊されていたのか。」
休憩 (10分)				
展開2 (10分)	劇 豊かさと環境をめぐる先進国と発展途上国の間には対立があることを理解してもらう。	劇を見てももらう。	世界地図 写真 図表	「豊かになるためには、環境が破壊されているのか。」 「豊かさと環境を両立させるにはどうしたらよいのだろうか。」

まとめ (15分)	「私たちにできるエ コとは？」 グループワーク (5分) 発表 (5分) まとめ (5分)	アイスブレイキング、展開 1のグループに分かれて もらう。 グループごとに自分たち にできることを画用紙に 書いてもらう。	画用紙 マジックペン	考えが出てこない 場合は、ファシリ テーターが支援す る。
--------------	--	--	---------------	--

5：会場のセッティング

黒板(ホワイトボード)

- ・ワークショップを通して、生徒は机、椅子を使用しない。ただし、道具を置くために、2，3個の机が必要。
- ・可能であれば、パワーポイント(スクリーン)を使用したい。

6：使用する教材

- ・写真
- ・図表
- ・画用紙
- ・見本の型を作ったもの
- ・ハサミ
- ・マジックペン

6：参考にした資料

- ・池上彰『池上彰の知らないと恥をかく世界の大大問題37』角川SSコミュニケーションズ、2010年
- ・三和総合研究所 研究開発第2部『手にとるように環境問題がわかる本』かんき出版、2002年
- ・安井至『環境問題』ナツメ社、2008年
- ・地球環境研究会『地球環境キーワード事典』中央法規出版、2003年
- ・佐々木宏『60分で知ったかぶり！環境問題がスラスラわかる本』同文館出版、2002年
- ・吉田文和『環境経済学講義』岩波書店、2010年

7：その他

環境保護を行うことがよいことで、豊かな生活を送ることは悪いことであると決めつけてしまわないように注意しながら、ワークショップを行います。